

# 西成瀬歴史散歩 ～ミニ～

Vol.5 令和5年 1月発行

西成瀬地区交流センター運営協議会

〒019-0711 増田町荻袋字真当 72

TEL : 45-2657 FAX : 45-4092

今回のテーマ：

縄文時代はすぐそこに～吉野・梨ノ木塚遺跡～



2021年7月、『北海道・北東北の縄文遺跡群』がユネスコの世界遺産に登録され、世界的にも縄文文化への関心が高まりつつあります。横手市や増田町でも多くの縄文遺跡が見つかっていますが、今回は、横手市指定史跡にもなっている西成瀬地区吉野の「梨ノ木塚遺跡」に注目していきます。

※『北海道・北東北の縄文遺跡群』…北海道、青森県、岩手県、秋田県に点在する遺跡群の総称。秋田県では「大湯環状列石」（鹿角市）と「伊勢堂岱遺跡」（北秋田市）が入っている。

## ◆ なしのきづかいせき 梨ノ木塚遺跡とは？



梨ノ木塚遺跡は、昭和37年（1962）の秋田県文化財分類調査の際に発見された縄文時代の遺跡です。昭和53年（1978）に実施された発掘調査では、多数の遺構（=昔の住居や墓の跡）や遺物（=土器や石器などの道具類）が見つかりました。それらから、梨ノ木塚遺跡では縄文時代前期・中期を経て、一時途絶えながらも縄文時代晩期まで（今からおよそ6000年～2300年前）の長きにわたり人間が生活していたということが明らかになりました。

ただし、現在は田んぼや畑になっているところも多く、発掘調査されたのは全体の約23%にとどまります。梨ノ木塚遺跡の中心部と思われる場所も未発掘のため、今後も調査が進めば新たな発見が出てくるかもしれません。



地域の皆様のご協力で、縄文時代の竪穴式住居が再現されました。  
※残念ながら、現在は老朽化のため撤去済みです。

裏へ続く

# ◆ どんなものが発掘されたの？

## ・石器類



石の槍（やり）



石の斧（おの）



石の矢じり



石のきり  
(穴開け用ドリル)



石匙（いしさじ）

木や動物の皮を剥いたり、肉を切ったりする石の万能携帯ナイフ！

★他にも、石皿・石棒・石剣・・・などなど

## ・縄文土器

右の土器は**深鉢型土器**と呼ばれ、

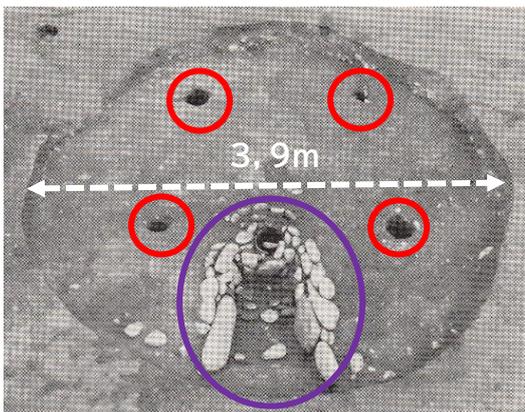
食べ物の煮炊きや保存など、様々な使い方をされた縄文時代の必需品ですが、一部の土器は土に埋められた状態でも見つかっています。これは**埋甕**（うめがめ）という縄文時代の風習で、土器の中に乳幼児の遺体を入れて埋葬していたものだと考えられます。梨ノ木塚遺跡では、この埋甕が**54基**発見されました。



近くで見ると、細かい模様まで描かれていることが分かります。



## ・竪穴式住居跡



発掘された遺構のひとつで縄文中期の住居跡。直径は3.9m、地面からの深さは25～45cm。4つの○は柱穴で、○の部分は深鉢型土器を埋め、周りに石を並べた**複式炉**という火を焚いた跡です。

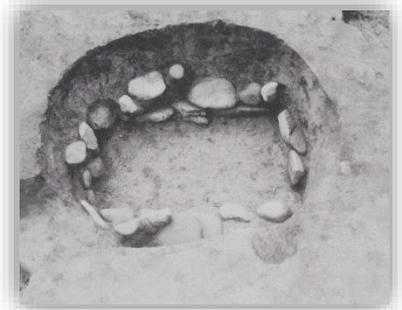


梨ノ木塚に暮らした縄文時代の人たちは、この炉を調理や暖をとるために使用していたのだそうです。

## ・土壌墓

土壌墓とは、土に穴を掘り遺体を埋葬したお墓のことです。梨ノ木塚遺跡からは、縄文時代晩期の土壌墓が**約50基**見つかりました。土壌墓には**成人**を埋葬したものとされます。

土壌墓の発掘写真→



■ 梨ノ木塚遺跡の調査結果や、写真の石器類、土器類は西成瀬地区交流センター内に実物を展示しています。興味のある方はぜひご覧ください！